

男女共同参画に関する県民意識調査の前回からの主な変更箇所について

H26 19問	R1案 18問	考え方
1 男女平等に関する意識について 問1 分野ごとの男女の地位	1 男女共同参画に関する意識について 問1 分野ごとの男女の地位	<ul style="list-style-type: none"> ・前回調査の自由記載欄での意見から、「男女平等」という言葉のイメージが先行し、「男女共同参画社会」の理念が正しく伝わっていなかったため、修正。
2 家庭生活について 問2 男女の役割分担 (1) <u>夫婦</u> の役割分担の理想 (2) <u>夫婦</u> の役割分担の現実 問3 理想的な男女の役割分担の実現に必要なこと	2 家庭生活について 問2 家庭生活における男女の役割分担 (1) <u>男女</u> の役割分担の理想 (2) <u>男女</u> の役割分担の現実 問3 理想的な男女の役割分担の実現に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活における男女の役割分担の理想と現実を問う設問であり、家族の多様化が進む中、夫婦間の役割分担に限定する必要性も乏しいため、「夫」を「男性」、妻を「女性」に修正。
3 女性が働きやすい環境づくりについて 問4 女性の働き方の理想と現実 (1) <u>女性</u> の働き方の理想 (2) <u>女性</u> の働き方の現実 問5 理想的な女性の働き方の実現に必要なこと (1) 家族や地域において (2) 企業など職場において (3) 行政の取組において	3 男女がともに働きやすい職場づくりについて 問4 ワーク・ライフ・バランスについて (1) <u>生活の優先度の理想</u> (2) <u>生活の優先度の現実</u> 問5 <u>男女がともに働きやすくなるために</u> 必要なこと (1) 家族や地域において (2) 企業など職場において (3) 行政の取組において	<ul style="list-style-type: none"> ・男女がともに働きやすい職場づくりを目指して、個々のワークライフバランスの理想と現実をお聞きしたうえで、理想との差を埋めるために必要な取組を聞く。 ・前回と同傾向の設問であるため、網羅的（家族や地域、企業など職場、行政）に必要な取組を聞く。選択肢を「男女がともに」という視点で全体的に修正。
4 DV／セクハラについて 問6 DVに関する認識 問7 DV経験の有無 問8 DV経験の内容 副問1 相談したか及び相談先 副問2 相談しなかった理由 問9 DVや性暴力を予防するため必要なこと 問10 セクハラに関する認識	4 DV／セクハラについて 問6 DVに関する認識 問7 経験の有無 問8 経験の内容 副問1 相談したか及び相談先 副問2 相談しなかった理由 問9 DVや性暴力を予防するため必要なこと 問10 セクハラに関する認識	
5 男女共同参画の推進について 問11 用語の認知度 問12 男女共同参画社会実現のため力を入れるべきこと 問13 <u>男女共同参画社会実現のため自分ができること</u>	5 男女共同参画の推進について 問11 用語の認知度 ・ <u>性的少数者</u> （追加） ・ <u>性的指向・性自認</u> （追加） ・ <u>カミングアウト</u> （追加） ・ <u>アウトティング</u> （追加） 問12 男女共同参画社会実現のため力を入れるべきこと 問13 削除	<ul style="list-style-type: none"> ・国の第4次男女共同参画計画に性的指向に関する項目が加えられていることに対応して追加。 ・調査結果が施策として取り入れづらく、啓発としても効果が低いいため、削除。
自由記載欄	自由記載欄	自由記載欄